

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各診療科のご紹介



耳鼻咽喉科・頭頸部外科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科
部長

にしむら ぶんご
西村 文吾 (前列左から3番目)

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では耳、鼻、咽喉頭のあらゆる疾患に対応しております。頭頸部の感覚器、運動器における様々な疾患は、音を聞く・匂いを嗅ぐ・食べる・話す・呼吸をするなどの重要な機能を損ない、生活の質（QOL）に大きく関わってきます。適切な診断、治療を行うことが症状からの解放、機能の温存につながります。時には積極的な手術治療が望ましい場合もあります。緊急での気道確保や、感染症等に対する外科的治療にも積極的に対応しています。

当院はがん診療連携拠点病院であり、頭頸部がん専門医制度指定研修施設です。頭頸部がんには口腔・咽喉頭がんを初め、鼻副鼻腔がんや唾液腺がん、甲状腺がんなど多種多様な疾患が含まれます。良性腫瘍も含め、頭頸部腫瘍性疾患全般に対する治療に力を入れています。再建を要する進行がんに対しては形成外科と合同で手術を行っております。機能の温存が目指せる場合には放射線療法や化学放射線療法を行います。また機能温存のため内視鏡を用いて経口的に咽喉頭がんを切除する手術も行っています。やむを得ず喉頭を摘出し発声機能を喪失した患者様にも、気管食道シャント術を行い、ボイスプロテゼ（プロヴォックス®）を装着することで音声によるコミュニケーション機能の再獲得を目指しています。近年開発された光免疫療法は、手術、放射線、抗がん剤、免疫チェックポイント阻害薬（そがいやく）に次ぐ“第5の治療法”として注目されていますが、当院はその施設要件を満たしており、施術が可能となるよう準備をしています。

当院には多職種から構成された摂食嚥下サポートチーム（SST）があり、摂食・嚥下障害看護認定看護師や言語聴覚士とともに嚥下機能の評価やリハビリテーションに取り組んでいます。リハビリテーションによる回復が困難な高度な嚥下障害に対しては、誤嚥防止手術や嚥下改善手術を行っています。

患者さんの命と機能を護るため、最新、最適の医療を提供すべく多くの選択肢を提示し、徹底して治療に取り組んでいくようチームを挙げて努めております。なにかございましたらお気軽にご相談いただけますと幸いです。